大正十二年一月三十日第三種郵便物認可

號外
清黨號

あつた。彼等は[illegible]直に急速に五黨合同に轉換してその陰謀計劃を大衆に陰蔽せんとした。日勞、日農兩黨の急速なる合同への轉換の眞意を知るならば思ひ半に過ぎるものがあらう。然も彼等の策謀は此の陰謀計劃を更に大規模に遂行せんとしたものである。卽ち五黨合同に依り之れを支配階級に賣込み、更に數回の運動資金を調達して遂に支配階級の走狗、フアシズム黨たらしめんとする意識的目的を有するものである。

平野、麻生の一派は何れもフダ付である。彼等は階級的良心の一片をも有せず、何等階級的理論の根據も有しない。彼等は今や單なる政治的取引屋投機業者に轉化してゐるのだ。舊日勞黨幹部が完全なる日和見主義で黨員大衆を僞瞞してゐた根據は今や明かだ。舊農民黨が如何に反動的であつたかは既に我無產階級の知悉せる所である。

四、フアシズム傾向の客觀的條件

我等は既に日本大衆黨のダラ幹の眞意の存する所を指摘した。彼等はフアシズム黨へ轉化せしめんと意識的に行動するものである。今や彼等ダラ幹を支持する一派は共に硬化し意識化せんとしてゐる。

然らば彼等は客觀的に、我國に於てフアシズム傾向の何等かの材料を有するであらうか？

今日我國の彈壓狂暴なる支配階級の白刄の下に鬪爭を敢行する無產階級の對立は益尖銳化して來た然も此の無產階級の立場に立つ諸黨のうち、右翼社會民主黨は完全に支配階級の御用を勉める第二インタナショナルの陣營にあり、左翼××は第三インタナショナルの××的政黨として各々其の指導精神に立脚し國際的規模に於ける一環として存在し、その各々の目的に向つて發展しつゝあるものであるが中間派諸黨なるものは實は何れも日和見主義的存在であつて、何れは此の左右兩翼に分割されるか或は反動化されるかである。

之等の中間的諸黨の雜然たる合同に依つて生れたる日本大衆黨は左は共產主義的分子から右は反動的農民層までさまぐの分子を包含したものであるが、無產政黨の根本條件たる工場勞働者及び貧農を以て組織されたる勞働、農民組合の基礎は甚だ薄弱なるもので、かなり反動的勞働組合と街頭に投出され緜證されたる分子及び反動的自作農の層を以て基礎としてゐるのである。

黨こそ眞の階級的政黨ではあり得ない。社會民衆黨黨員諸君！諸君は全勞農戰線の統一を望んでゐる。社會民衆黨幹部の合同反對論者こそ又極左分裂主義者こそ、姿こそ異なれ、日本大衆黨のダラク幹部と何等相異ない裏切者である。彼等こそ、田中反動內閣の分裂政策に呼應してゐるのだ。清黨運動はかくして、單に日本大衆黨のみに限られた運

は議會を利用して「たゝつこ」と称して、プロレタリアの强力なる闘爭をたゝきこはす常套手段に何となく似てゐる事よ。

裏切幹部とその一味は黨の平和を口にする。然しだ。反階級的な平和が何になる。階級的な平和であつてこそ初めて意義があるのだ。清黨運動の旗を飜して階級的合同へ

裏切幹部の機關紙强奪

吾等の清黨運動によつて麻生、平野等の裏切行爲が曝露し、大衆の憤怒漸く高まらんとするや、彼等は死物狂ひさなつて逆襲する。彼等は分裂主義の本性を表して、清純分子の黨放逐を企てる。

日本大衆黨黨員諸君、彼等の陰謀を粉碎せよ。

見よ　日本大衆黨機關紙日本大衆新聞第二號には、黨中央常任執行委員會の意志を蹂躪して、機關紙部に巢喰ふその一味は、最

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

河野「私も黨を愛して此解決を早くいたしませう」

るものとなし逆襲するところとなつた。

然し乍ら、彼等の逆襲も、吾等の示した事實の根抵を動搖せしめざるものであると同時に、反つて吾等の清黨運動の根據を明かにするものである。

以下、日本大衆新聞の記事の、ひたすら自己の罪惡を隱蔽せんとする逆宣傳である事を示し、黨員諸君の階級的奮起を望んで止まない。

河野密

日本大衆新聞所載の如く、リーフレット「清黨」に示した事實は決して「やまと新聞」記事の合理化でも何でも無い。吾等は、吾等の力をもつて彼等の陰謀を見破つたのである。淺沼、

擧げた云々とは流石の連中でも書かれまい。

高畠事件は常識

でも考へ得られないと新聞は云つてゐるが、其の常識でも考へ得られない事をやつてゐるから、大事件となつたのだ。

續いて新聞は

「内容空疎の一例證、所謂幸の湖事件の眞相」と稱して、田所、河野と仲の惡い福田狂二が感情の融和を圖りたいと麻生を通じて、銀座丸見屋へ招待した。そして、一圓の大阪鮨司より五萬圓の買込み事件を捏造した云云と書いてゐるが、元來福田は自分から頭を下げて田所や河野の様な若輩に感情の融和を願ひますと云ひ出す様な男ではない。兩者の感情の融和を圖る爲めならば、麻生が申込んでより初めて會談があるのだ。

さてこれは捏造だと云ふが捏造でない證據を擧げよう。別掲の、一月二十一日進め社本部にて三輪、河野、鈴木（茂）の三人との會話がそれである。

事實を隱蔽せんとするものは、事實を否認する。然るに、河野は「あれは冗談のつもりでした」と云つてゐる。はつきりは云へまい。はつきり事實を認定したら、書記次長の首があぶない。更に

無二の親友、麻生、田所の首も危ないのだ。

「清黨」運動こそ黨の階級性を守るものだ

更に新聞は「清黨」の虚構なるは黨の活動に徴せ」として、田中反動内閣打倒の演説會を五大都市其の他においてやつたではないかと云つてゐる。

しかし乍ら眞のスパイはスパイらしくないと同様に眞の裏切者は裏切者らしくない。日本大衆黨黨員の熱烈な田中打倒の聲に、心から呼應してゐるが如く見せかけて彼等は裏切つたのだ。

第五十六議會において無産黨は獨自の立場から戰ふと云ふ事は、一見して階級的であるが議會内の客觀的狀勢の如何によつて民政黨の不信任案に合流する事が階級的である。何故なら、田中反動内閣打倒こそ、われ／＼の爲すべき當面の階級的任務であるからだ。かゝる時。獨自の立場と稱して進むのは田中内閣の存續を希望する以外何ものでもない。淺原氏、河上氏は除名されても、田中反動内閣打倒の爲めに民政黨の不信任案に合流する旨を聲明してゐる。

無産黨代議士をして奮起せしめたものは、彼等裏切幹部であつたか、否々、吾々清黨運動の壓力であつたのだ。

更に日本大衆新聞は云ふ「私等が問題を正式に常任中央執行委員會に移し、統制委員會に移したる所以のものは、何等私情を挿む事無く公正なる結論を大衆の前に披瀝し、以て黨の清淨を立證せんが爲めであつた」と。

果してそうであつたか。問題を有耶無耶にして了ふ事を策謀したものは誰であつたか。福田氏を顧問にするとか、幹部にするからとか美餌を投かけてゴマ化さうとしたものは誰だつたか。統制委員會にかけようとしたものは、黨の清純分子以外の何者でもなかつたのだ。彼等は、問題が統制委員會に移つたる今日に於ては、前述の如き機關紙亂用の專斷を試み、多數をもつて裏切り幹部擁護血盟隊を組織したのだ、

彼等は云ふ。

「同時に吾等は「清黨運動同盟」と稱して黨内攪亂運動を爲すものに對しても警告を發する所存である」と

笑はせるな。說教強盗の言葉と階級的言葉をつき混じた様な事を云ふな。

清黨運動同盟は、裏切幹部に追從し國粹政黨を組織せんとする諸君に對して、今や嚴重なる警告を發しなければならない。

平野、麻生のダラク幹部を除名せよ。

―日本大衆黨の階級性を擁護せよ―と。

福田氏除名は滿場一致で除名決定とは嘘だ

彼等は更に常任中央委員會は滿場一致・福田狂二氏の除名を決定したと云ふ。滿場一致なと見え透いた嘘を云ふな、民憲黨の古市君は憤慨して退場し、鈴木茂三郎氏黒田壽男氏は絕對反對して五對三て決定したのではないか。

福田氏除名絕對反對！